別添5

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者 氏名	論文 タイトル名	書籍全体の 編集者名	書　籍　名	出版社名	出版地	出版年	ページ
		久保俊一 武田雅俊	認知症のリハビリテーション医学・医療テキスト	日本リハビリテーション医学教育推進機構	日本	2025年	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
三上幸夫, 塩田繁人, 浅枝諒	医療保険と介護保険のリハビリテーション連携の現状と課題	臨床リハ	33	873-880	2024
Shigehito Shiota, Kohei Yoshikawa, Makoto Asaeda, Kazuhiko Hirata, Masahiro Abo, Yohei Otaka, Yasuo Mikami, Yukihide Nishimura, Nobuyuki Sasaki, Ryo Momosaki, Masachika Niimi, Shoji Kinoshita, Takuya Hada, Takashi Kawasaki, Kazunari Nishiyama, Yasuhide Nakayama, Miho Shimizu, Shin Kitamura, Yukio Mikami	Establishing Standard Categories of Rehabilitation Approaches in Long-term Care: A Delphi Consensus Study.	Prog Rehabil Med	10	20250016	2025
Ushida K, Wakabayashi H, Kinoshita S, Tohara H, Isowa T, Sakai K, Tohyama M, Shirai Y, Momosaki R.	Association between bed-rest time, food intake, and constipation in older nursing home residents.	Geriatr Gerontol Int	25	583-587	2025

Kinoshita S, Shimizu A, Yamada N, Momosaki R, Wakabayashi H, Sakai K, Tohara H, Yanagida R, Isowa T, Ushida K, Abo M.	Association between Mortality and Time Spent Out of Bed in Older-Adult Nursing Home Residents.	J Am Med Dir Assoc	26	105458	2025
木下翔司, 安保雅博	ビッグデータが切り開くリハビリテーション医療の展望	医学のあゆみ	294(1)	18-24	2025
木下翔司	ビッグデータ,リアルワールドデータの活用 第5回 回復期リハビリテーション病棟にお	総合リハビリテーション	54(2)	205-208	2026

学会発表

1) 三上幸夫：生活期リハビリテーションの課題と標準化に向けた取り組み．第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会シンポジウム，2025 年 6 月 13 日．
2) 荒木武弥、三上幸夫：介護保険の生活期リハビリテーション手法に関するアンケート調査．第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会，2025 年 6 月 13 日．
3) 木曽紗也香、三上幸夫：生活期リハビリテーションにおける訓練手法の全国アンケート調査研究．第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会，2025 年 6 月 13 日．
4) 品末 典、塩田 繁人、三上 幸夫. 広島県内の医療介護施設における標準コードを用いた実態調査. . 第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会，2025 年 6 月 12 日
5) 佐々木信幸：リハビリテーション手法の新たな標準コードの実現可能性. 第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2025 年 6 月 12 日．
6) 木下 翔司生活期リハビリテーション手法の標準コード開発の進捗と展望 生活期リハビリテーション手法の標準コードの Feasibility 調査第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会　2025 年 6 月 12 日
7) 松本　彰紘，三上　幸夫. リハビリテーションの訓練項目と訓練時間が患者 ADL に与える影響の調査：3.5 ヶ月 1229 人の統計分析. 第 53 回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会, 2025 年 7 月 13 日
8) 塚原　樹佳, 三上　幸夫. 生活期リハビリテーション手法の標準コードの Feasibility 調査. 第 53 回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会, 2025 年 7 月 13 日
9) Shoji Kinoshita, Mayuko Ueno, Masahiro AboTRAINING PROVISION DIFFERENCES IN CONVALESCENT AND COMMUNITY-BASED REHABILITATION BY STANDARD CODE OF REHABILITATION APPROACHES9th Asia-Oceanian Conference of Physical and Rehabilitation Medicine　2025 年 8 月 21 日

10)　三上幸夫：生活期リハビリテーション診療における訓練コードの適切性の検証．第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会，2025年11月3日．